議 事 録

会 議 名	令和4年度 第1回 教育課程編成委員会
日 時	令和4年9月22日(木) 15:00~17:00
場 所	中央工学校OSAKA 1号館 31・32教室
参 加 者	[委 員] (敬称略) 金沢 ちかこ、小坂田 昌広、 田中 由之、岩尾 美穂、 [関係職員] 中村 聖吾、平上 秀明、原 充介、戸澤 まり子、 中島 征治、吉田 知恵(司会)、中本 小百合(写真)、 松本 藤子、吉原 裕礼、唐木 恵美(記録)
内 容	1. 令和4年度 第1回 教育課程編成委員会 司会の吉田 知恵職員が開会の宣言を行い、教育課程編成委員会 が開会した。 (ア) 学校長挨拶 中村 聖吾校長から本校における現状について報告があった。 ・4月7日(木) 152名の新入生が入学。 ・現在、全て対面授業とし、課外授業も認めている。 ・軽井沢研修：今年も学内での研修に変更。 ・卒業学年を対象とした合同企業説明会：オンラインで実施。 36社の企業様にご協力いただいた。 ・インターンシップ：今年度は通常実施。 ・後期について：前期と同様通常の対面授業を実施。 宿泊を伴う課外授業も解禁予定。 ・建築施工実習を3年ぶりに実施予定。 (合計51名 建築学科・住宅デザイン科) ・国内建築研修も3年ぶりに実施予定。(研究科) ・令和4年二級建築士学科試験について 32名受験：25名合格。78.1% (42.8%：全国平均) 一級・二級同時受験者：1名、一級・二級学科試験合格。

- ・転科について：4名異動
 建築学科1名⇒インテリアデザイン科へ
 住宅デザイン科2名⇒インテリアデザイン科へ
 インテリアデザイン科1名⇒建築学科へ
 - ・4月以降入職の職員を紹介
- (イ) 配布資料の確認
 吉田 知恵職員から、本日の配布物の確認を行った。
- (ウ) 各学科の教育内容について
- ・今年度は4月より基本は対面で実施。
 - ・課題配布提出等の合理化を目指す。
 - ・カリキュラムの変更。
 住宅デザイン科においてCADソフトの変更。
 インターンシップ：カリキュラムから削除。
 エコ検定対策授業の休止。
 - ・一級建築士受験サポートについて
 - ・令和4年度の新型コロナウイルス感染防止対策について
 基本的な対策のほか、感染疑いのための公欠を引き続き認める。
 各教室PCのZoom対応。
 - ・コンペ入賞率の向上を目指す。
 「劇적お部屋のビフォーアフター」コンテスト
 今年度1名 実際に施工予定。
 - ・BIM教育の推進。
 - ・発展科目における脱落者問題の解決について
 - ・休退学の防止について、昨年度の報告。
 - ・研究科合格保証制度3名が利用。(内2名、学科合格)
 - ・授業及び教室について
 オンラインによる出席確認に変更。
 - ・資格取得について
 商業施設士補：建築学科、住宅デザイン科も今年度から受験可能
 になった。(現1年生から)
 - ・コースについて
 - ・就職率の向上について

- ・軽井沢研修について

今年度も代替研修を実施。

事前研修、本研修、フォローアップ研修。

- ・学校関係者評価書について

- ・生きた建築フェスティバル大阪 2022 について

今年度は通常開催の予定。

10月29日(土)はオープンキャンパス同時開催。

- ・建築積算士補資格登録者数について

(エ) 令和4年度前期課題作品の視察。

戸澤 まり子学科長より建築系3学科1年生の作品説明、平上 秀明教務部長より建築学科2年生の作品説明、吉田 知恵職員より住宅デザイン科2年生の作品説明、唐木 恵美職員よりインテリアデザイン科2年生の作品説明を行った。

(オ) 意見交換

【金沢 ちかこ委員】

- ・対面授業は改めて大切だと実感している。
- ・コロナウイルスと上手な付き合いが出来ている。
- ・作品について

毎年レベルが上がっていると感じる。

インテリアデザイン科プロジェクトデザイン演習について

目に見えていない部分への問題定義が出来る授業になっている。

芯になるものの見方を教えているのは素晴らしい。

必修科目ではないのが残念と感じる。

建築学科の作品については感性があって良いと感じる。

【小坂田 昌広委員】

- ・今年度、二級建築士試験の合格率が良かった理由は？

【戸澤 まり子学科長】

- ・一昨年、昨年は Web 教材を渡していたが、

一人で取り組むことが難しかった様子であった。

今年度は、登校して仲間と共に学ぶことでやる気が出た学生が多かったのではないかと。

【小坂田 昌広委員】

- ・やはり対面が良いのではないかと考えている。
- ・令和4年スローガン
“コミュニケーションを大切に”については？

【戸澤 まり子学科長】

- ・スローガンは学生が決めた。学科合同イベントで、普段交流がない学生と交流することで、このような項目を考えてくれたのではないか。

【小坂田 昌広委員】

- ・コミュニケーションにおいて
自分を包み隠さず相手に話すことが相手に対して説得力があるのではないかと思う。
- ・建築学科の作品について
発想は大切だと思う。学生が興味を持ったことには、先生として賛同して頂きたいと思う。
- ・教育基本方針について
コロナ禍で様々な案を考えているのは良い。

【田中 由之委員】

- ・一級建築士、二級建築士同時受験が出来ているのは良い。
今後も資格取得推進をしてほしい。
授業だけではなく、資格取得に向けた勉強でも建築に関する知識が身に付く。実務上でも差が出る。
- ・作品について
大学、専門学校に限らず構造の部分が疎かになりがちになる。
CADの操作で目一杯になってしまう。寸法の大きさなど、図面が成果品（商品）になるので、中途半端な図面になってはならない。
図面表現を細かい部分まで意識がされていて、かつ構造もしっかり考えられていると、とても良いのではないかと思う。
インテリアデザイン科のプロジェクトデザイン演習の課題について現代的であり、実務的なことを学生のうちに経験しているのは良いのではないかと思う。

【岩尾 美穂委員】

- ・コロナ禍の中で工夫をして、宿泊を伴う研修を再開したりすることは良いことだと思う。
- ・建築士受験の合格者が増えていること、一級・二級同時受験が実現したことが良かった。
今の学生は、自分で勝ち取った経験が少ないのではと感じる。
資格取得など、自分の努力で勝ち取った経験はとても良い事。
今後入学する学生にも先輩の成功体験を伝えてほしい。
- ・作品について
毎年、良い作品が増えてきている印象。
クラス内で課題提出できている学生と出来ていない学生が分かれてしまうことは良くない。
しっかり提出できている学生がクラス全体をひっぱるような雰囲気づくりが大切。

【吉田 知恵職員】

- ・どのような課題に取り組んでも上手くいかない学生に対しての指導をどのようにしたら良いか。
コミュニケーションも苦手でクラスメイトからの援助も難しい状況。

【小坂田 昌広委員】

- ・根気強く、寄り添うことが大切。
なぜ学校に入ったのか？目的意識を発見できるようにサポートすると良いのでは。

【戸澤 まり子学科長】

- ・一級二級同時受験した学生に関しては、本人のポテンシャルが高い。

【平上 秀明教務部長】

- ・努力も惜しまない学生。学生全体に対して良い影響を与えることが出来れば良いと感じている。

・事務連絡

第二回教育課程編成委員会は令和5年2月17日(金)の予定。

2. 閉会の辞

中村 聖吾校長が閉会の宣言を行い、教育課程編成委員会が閉会した。

【配付資料一覧】

- ・令和4年度 第1回教育課程編成委員会 次第
- ・令和4年度 建築系の運営について
- ・令和4年度 軽井沢合宿研修プログラム
- ・令和3年度 学校関係者評価書
- ・生きた建築ミュージアムフェスティバル大阪のご案内
- ・(積算協会) 認定校別資格登録者数調査票

以上